

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【公表番号】特表 2008-536446 (P2008-536446A)
 【公表日】平成 20 年 9 月 4 日 (2008.9.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-035
 【出願番号】特願 2008-506465 (P2008-506465)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 20 日 (2009.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像ブロックのためのビデオ信号データを符号化するためのビデオ符号器であって、前記ビデオ信号データの色成分毎に独自の予測器を使用して、前記ビデオ信号データを符号化するための符号器を含む、前記ビデオ符号器。

【請求項 2】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データが、共通ブロック区分を使用して区分されるか、または複数ブロック区分を使用して区分されるかに関係なく、前記ビデオ信号データを符号化するために使用される、請求項 1 に記載のビデオ符号器。

【請求項 3】

前記独自の予測器が、すべて輝度予測器である、請求項 1 に記載のビデオ符号器。

【請求項 4】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される独自の輝度予測器を備える、請求項 1 に記載のビデオ符号器。

【請求項 5】

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の 4:4:4、4:2:2、および 4:2:0 フォーマットの何れかに対応する、請求項 1 に記載のビデオ符号器。

【請求項 6】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データのイントラおよびインター符号化の両方に対して使用される、請求項 1 に記載のビデオ符号器。

【請求項 7】

第 1 の前記色成分に対する第 1 の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の `prev__intra4x4__pred__mode__flag0` および `rem__intra4x4__pred__mode0` パラメータによって設定され、第 2 の前記色成分に対する第 2 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag1` および `rem__intra4x4__pred__mode1` パラメータによって設定され、第 3 の前記色成分に対する第 3 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag2` および `rem__intra4x4__pred__mode2` パラメータによって設定される、請求項 1 に記載のビデオ符号

器。

【請求項 8】

前記符号器が、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを、それらに残差色変換を適用することなく符号化する、請求項 1 に記載のビデオ符号器。

【請求項 9】

画像ブロックのためのビデオ信号データを符号化するための方法であって、前記ビデオ信号データの色成分毎に独自の予測器を使用して、前記ビデオ信号データを符号化するステップを含む、前記方法。

【請求項 10】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データが、共通ブロック区分を使用して区分されるか、または複数ブロック区分を使用して区分されるかに関係なく、前記ビデオ信号データを符号化するために使用される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記独自の予測器が、すべて輝度予測器である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される独自の輝度予測器を備える、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の 4:4:4、4:2:2、および 4:2:0 フォーマットの何れかに対応する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データのイントラおよびインター符号化の両方に対して使用される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

第 1 の前記色成分に対する第 1 の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の `prev__intra4x4__pred__mode__flag0` および `rem__intra4x4__pred__mode0` パラメータによって設定され、第 2 の前記色成分に対する第 2 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag1` および `rem__intra4x4__pred__mode1` パラメータによって設定され、第 3 の前記色成分に対する第 3 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag2` および `rem__intra4x4__pred__mode2` パラメータによって設定される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 16】

前記符号化ステップが、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを、それらに残差色変換を適用することなく符号化する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 17】

画像ブロックのためのビデオ信号データを復号化するためのビデオ復号器であって、前記ビデオ信号データの色成分毎に独自の予測器を使用して、前記ビデオ信号データを復号化するための復号器を含む、前記ビデオ復号器。

【請求項 18】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データが、共通ブロック区分を使用して区分されるか、または複数ブロック区分を使用して区分されるかに関係なく、前記ビデオ信号データを復号化するために使用される、請求項 17 に記載のビデオ復号器。

【請求項 19】

前記独自の予測器が、すべて輝度予測器である、請求項 17 に記載のビデオ復号器。

【請求項 20】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される独自の輝度予測器を備える、請求項 17 に記載のビデオ復号器。

【請求項 21】

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の 4:4:4、4:2:2、および 4:2:0 フォーマットの何れかに対応する、請求項 17 に記載のビデオ復号器。

【請求項 22】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データのイントラおよびインター符号化の両方に対して使用される、請求項 17 に記載のビデオ復号器。

【請求項 23】

第 1 の前記色成分に対する第 1 の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の `prev__intra4x4__pred__mode__flag0` および `rem__intra4x4__pred__mode0` パラメータによって設定され、第 2 の前記色成分に対する第 2 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag1` および `rem__intra4x4__pred__mode1` パラメータによって設定され、第 3 の前記色成分に対する第 3 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag2` および `rem__intra4x4__pred__mode2` パラメータによって設定される、請求項 17 に記載のビデオ復号器。

【請求項 24】

前記復号器が、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを、それらに残差色変換を適用することなく復号化する、請求項 17 に記載のビデオ復号器。

【請求項 25】

画像ブロックのためのビデオ信号データを復号化するための方法であって、前記ビデオ信号データの色成分毎に独自の予測器を使用して、前記ビデオ信号データを復号化するステップを含む、前記方法。

【請求項 26】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データが、共通ブロック区分を使用して区分されるか、または複数ブロック区分を使用して区分されるかに関係なく、前記ビデオ信号データを復号化するために使用される、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 27】

前記独自の予測器が、すべて輝度予測器である、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 28】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データの輝度および色度成分の両方に対して使用される独自の輝度予測器を備える、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 29】

前記ビデオ信号データのサンプリングが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の 4:4:4、4:2:2、および 4:2:0 フォーマットの何れかに対応する、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 30】

前記独自の予測器が、前記ビデオ信号データのイントラおよびインター符号化の両方に対して使用される、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 31】

第 1 の前記色成分に対する第 1 の空間予測モードが、国際電気通信連合電気通信標準化部門の H. 264 規格の `prev__intra4x4__pred__mode__flag0` および `rem__intra4x4__pred__mode0` パラメータによって設定され、第 2 の前記色成分に対する第 2 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag1` および `rem__intra4x4__pred__mode1` パラメータによって設定され、第 3 の前記色成分に対する第 3 の空間予測モードが、`prev__intra4x4__pred__mode__flag2` および `rem__intra4x4__pred__mode2` パラメータによって設定される、請求項 25 に記載の方法。

【請求項 32】

前記復号化ステップが、前記ビデオ信号データの前記色成分のすべてを、それらに残差

色変換を適用することなく復号化する、請求項 2 5 に記載の方法。